

# 福祉教育プログラム

令和8年度版



社会福祉法人鏡石町社会福祉協議会

鏡石町ボランティアセンター

住所：鏡石町東町286番地

電話：0248-62-6428

## はじめに

福祉教育とは、「ともに生きる社会」を実現するために学校や地域において、誰もが暮らしやすい社会について考え、福祉の心を育むための取り組みです。

本プログラムは、「地域で暮らす子ども達の心の豊かな成長」と「地域とのつながり、地域福祉の推進を図る」ことを目的としています。

「福祉」の視点から、自分が住んでいる地域とそこで暮らす人々、つながりの大切さを知り、他人事としてではなく、自分の事として相手の身になって考えることができる学習にするため「気づき」と「共感」を促し、「行動」に結びつくような内容を心がけています。

本プログラムを希望される場合は本会事務局までお問合せください。

## 実施までの流れ

### 1. 本会への相談・依頼

- ・実施候補日や内容をお伝えください。
- ・可能な限り3か月前までにご相談ください。
- ・講師料等の費用はかかりませんが、日程状況によっては実施時期の変更をお願いすることがあります。

### 2. 事前打ち合わせ

- ・希望時間や内容によりプログラムを組み立て、確認します。  
参加人数によって体験時間がかかる場合があります。  
希望により事前学習や複数回での講座も可能です。
- ・学校・団体に準備をお願いするものは事前にお伝えします。
- ・内容が決まりましたら、本会へ別紙の講師派遣依頼（任意様式も可）を送付してください。

### 3. 実施


- ・内容によっては前日に準備物を搬入する場合があります。
- ・ケガや事故のないよう注意を払いながら実施します。

### 4. 振り返り

- ・体験終了後、可能な範囲で振り返り（事後学習）をお願いしています。  
体験する前と後で感じ方、考え方は変わったか、これから自分たちにできることはないかを考える機会があることで、より学びが深まります。

プログラム①

「高齢者疑似体験」～高齢者の気持ちとカラダを考える～

ねらい	疑似体験を通して「年をとること」について学ぶ。また、相手を思いやる気持ち、相手の立場になって考える。
対象／人数	クラス単位又は学年全体／4学年～ 地域住民／5～20人程度まで
場 所	各クラス教室又はホール、地区集会所等
時 間	1時間～2時間／回
内 容	<p>(1) 高齢者疑似体験キットの説明 体験キットの装着手順と併せて、高齢者に起こりやすい病気、体の変化について説明</p> <p>(2) 体験内容 ・階段の上り下り、マット上での動作、読み書き 等</p> 
準備物	<p>(学校・団体準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブル：2、イス：12、マット：2</li> <li>・個人：軍手又は手袋 ノート等に体験した感想など（必要あれば）</li> </ul> <p>(本会準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験キット（M：5セット、L：6セット）</li> <li>・配布資料（体験後に配布します）</li> </ul> <p><u>※体験キットは本会が須賀川市社協さまからお借りするため、日程調整は余裕をもって事前連絡をお願いします。</u></p> <p>※日程については夏の時期(6～8月)は可能な限りご遠慮ください。</p>
振り返り (事後学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にできることについて考える。</li> <li>・ユニバーサルデザインについて調べる。</li> </ul>


プログラム②

「赤い羽根教室」～募金ってなんだろう？～

ねらい	毎年、全国で行われている赤い羽根共同募金運動について、募金のしくみや使い道などについて学び、募金についての理解を深める。
対象／人数	クラス単位又は学年全体／低学年～ 地域住民／5～20人程度まで
場 所	各クラス教室又はホール、地区集会所等
時 間	45分～1時間程度／回
内 容	<p>(1) 赤い羽根共同募金って何だろう？募金の仕組み  (2) 鏡石町における使い道  (3) 募金クイズ  (4) 募金箱をつくってみよう！（30分程度）</p> <p>※(1)～(3)で45分間程度の内容となります。  (4)を希望する場合は2つの組み合わせ又は時間を調整して行います。</p> <p>※参加記念として組立式募金箱又は、風船等をプレゼントします。  (事前に人数等をお伝えください)</p> <div data-bbox="635 1151 1082 1487" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1136 1093 1449 1496" data-label="Image"> </div>
準備物	<p>(学校・団体準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクター、スクリーン（※本会準備可）</li> <li>・(4)の場合：クレヨンやえんぴつ（折り紙、シール等も可）</li> </ul> <p>(本会準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料</li> <li>・プロジェクター、スクリーン、PC</li> </ul>
振り返り (事後学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募金活動をやってみる。</li> <li>・募金をしてみたくなる募金箱を考える。</li> </ul>


プログラム③

「手話体験」

<p>ねらい</p>	<p>手話について学び、聴覚障がいや手話についての理解を深める。 体験を通して、障がいによる生活上の困難や工夫について学び、聴覚障がいのある人が困っている時に、自分に何ができるのかを考える。</p>
<p>対象／人数</p>	<p>クラス単位／低学年～ 地域住民／5～20人程度まで</p>
<p>場 所</p>	<p>各クラス教室又はホール、地区集会所等</p>
<p>時 間</p>	<p>45分程度／回</p>
<p>内 容</p>	<p>(1) 『聴覚障がい』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳が不自由な人に出会ったときに</li> </ul> <p>(2) 『手話』の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なものを手話で覚えよう！</li> <li>・面白い手話のお話 など</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>↑ サマーボランティアで手話体験をしている様子</p>
<p>準備物</p>	<p>(学校・団体準備) 特になし (本会準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料</li> </ul>
<p>振り返り (事後学習)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障がいの人困っている1場面を想定して、みんなで自分ならどんな声かけ、手助けができるか考える。</li> <li>・バリアフリーについて考える。</li> <li>・福祉マークについて調べる。</li> </ul>


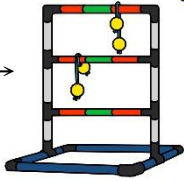


プログラム④

「地域防災教室」～自分にできることを考えよう！～

ねらい	<p>近年、全国的に地震や台風などによる大規模な自然災害が発生しており、鏡石町でも東日本大震災（平成23年3月）、令和元年東日本台風（令和元年10月）などにより被害が発生していることから、自分の身を守る方法について学ぶ。</p> <p>日ごろから個人や家族でできる防災知識を身につける。</p>
対象／人数	クラス単位又は学年全体／低学年～ 地域住民／5～20人程度まで
場 所	各クラス教室又はホール、地区集会所等
時 間	45分～90時間程度（内容によって）／回
内 容	<p>(1) 災害について                  (2) 災害時の避難、日頃の備え                  (3) 防災クイズ                  (4) 楽しく身につく！防災すごろくゲーム                  (5) 鏡石町の地理をもっと知ろう！～地名ビンゴ～（高学年向け）                  (6) 災害ボランティアセンターって？（高学年向け）</p>  <p>※45分の場合は1～2つ選択して行います。                  所要時間によっては複数組み合わせることも可能です。                  ※参加記念として防災グッズ1個をプレゼントします。                  （事前に人数等をお伝えください）</p>
準備物	<p>（学校・団体準備）特になし                  （本会準備）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料</li> <li>・プロジェクター、スクリーン、PC</li> </ul>
振り返り （事後学習）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のまちで災害が起こったとき、自分にできることを考える。</li> <li>・マップで住んでいる地区の避難所を確認する。</li> </ul>

プログラム⑤

「パラスポーツ・ニュースポーツ体験」

ねらい	障がいがあっても高齢になっても、誰でも楽しめるスポーツをとおして、相手の立場に立って考える。
対象／人数	クラス単位又は学年全体／低学年～ 地域住民／5～20人程度まで
場 所	ホール又は体育館、地区集会所等
時 間	45分～90分程度／回
内 容	<p>(1) パラスポーツ「ボッチャ」</p> <p>(2) ニュースポーツ  「スカットボール」「コーンホール」「ラダーゲッター」いずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール説明後、体験を行う。</li> <li>・時間に応じて対戦する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑ 「スカットボール」 「ラダーゲッター」→</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>「ボッチャ」→</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>コーンホール↓</p>  </div> </div> <p>※希望により車椅子（1～2台）を準備して、代表若しくは交代制で車椅子体験にて参加することができます。</p> <p>※用具の貸出のみも可能です。ただし、破損した場合は状況により弁償していただくことがあります。</p> <p>※その他貸出可能なレク用具がございますので問合せください。</p>
準備物	<p>(学校・団体準備) 特になし</p> <p>(本会準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種用具、音響マイク</li> </ul>
振り返り (事後学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも楽しめるスポーツやゲームについて調べる。</li> <li>・自分たちで誰でも楽しめるゲームを考える。</li> </ul>

(様式例)

○小第○○号  
令和○年○月○○日

鏡石町社会福祉協議会長 様

鏡石町立第○小学校長 ○○ ○○ 印

講 師 派 遣 依 頼

下記により、貴職員の派遣についてお願いいたします。

- 1 プログラム 「プログラム① ○○○○○体験」
- 2 行 事 名 総合的な学習の時間
- 3 期 日 令和○年 ○月○○日 ( )  
時 分 ~ 時 分
- 4 参 加 者 ○学年 ○組 ○○名 (担任 ○○ ○○)
- 5 場 所 校内○○ホール
- 6 そ の 他 詳しい内容等については、下記担当者と話し合いのうえ実施願います。  
担当者 年 組 ○○○○